

1 主題構成表

主題名 「強い意志」(中学校第1学年)

資料名「夢に向かって ～恩田社長～」(自作資料)

内容項目 A(4)

「希望と勇気、克己と強い意志」

より高い目標を設定し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやりとげること。

■ 内容項目から見た生徒の実態(意識)

- ・A男：進路や将来に関して希望はあるが、そのために何をどうしていくとよいのか現実を見つめて考え実行していく力は弱い。
- ・B男：将来の夢はもっているが、その実現のために努力したり目標に向かってこつこつ頑張ったりすることが苦手で、決意したことをすぐに忘れてしまうことが多い。
- ・C男：日常生活において自分で達成できそうな目標を立てて努力しようとすることができる。自分の将来については少しずつ考えているが、「夢は自分には関係ない、夢はいらない。」と言うことがある。

(要因)

- ・A男：学校生活に対しての不安や目標を達成するための具体的な方法が分からないことなどから計画を遂行する力が弱い。計画を遂行してやりきった喜びを味わった経験が少ない。
- ・B男：後からでもできると自分のやりたいことを優先させてしまう。注意散漫になるときがあり、集中をして話を聞く力が弱い。これまでできたことが自信につながっていない。
- ・C男：見通しがもてないことや想定外のことに對して臨機応変に対応を考えることが苦手である。漠然とした将来の自分の姿を想像することは難しく、夢をもつことに意義を見出すことができない。

■ 価値の分析

- ・将来に向けて夢をもつことや夢の実現のために必要なことについて考え努力していくことは、大切なことである。だが生徒たちは、自分の置かれている現実をしっかりと見つめられなかったり(A男)、自分を過大視して安易に現実妥協したり(B男)、予想できないことを考えることへの不安な気持ちを抱いたりする(C男)ことから夢や目標をもち、努力していくことが難しい。そのため目標を達成した成就感や達成感を味わった経験が少ない。
- ・そこでいろいろな人たちの生き方から、困難を乗り越えて目標を達成したときの成就感や満足感を味わうことで希望や勇気が生まれてくることや生涯をかけての理想や目標をもつことが、日々の生活の充実につながることに気付かせていきたい。
- ・そして自己の生き方をみつめ、今は具体的に夢をもてなくても、日常生活における目標に向かい努力し続けること、粘り強く最後までやりぬこうとする強い意志をもって向かうことが、より高い目標の実現につながることに気付かせたい。

■ 資料の分析

- ・岐阜県出身の恩田さんは大学時代に遊園地のホスピタリティにふれて感動し、志望していた宇宙工学博士の道から一転してアミューズメント産業の会社へ就職する。その熱心な仕事を評価された恩田さんはFC岐阜の社長に抜擢される。
- ・社長就任後、工夫を凝らした企画を実施したり、観客と積極的にふれあったりする恩田さんの姿を通して、恩田さんが観客に喜んでもらいたいと希望と夢をもって仕事をしていくことに気付くことができる。
- ・自分が難病に侵されていることを宣告され、病気の進行により体の自由がきかなくなりつつも、あきらめず社長として仕事を続ける恩田さんの姿から、観客に喜んでもらうことが恩田さんにとっての生涯をかけた目標、生きがいであり、目標に向かって努力し続けたことで観客からの感謝の言葉をもらえることが困難を乗り越え目標に向かって努力し続けようとする原動力になっていることに気付くことができる。

■ ねらい

困難に屈しないで目標に向かって努力し続けることで目標を達成した成就感や達成感を味わえることに気づき、自分の目標に向かって粘り強く最後までやりぬこうと努力し続ける心情や態度を育てる。

■ 展開の構想

- ・恩田社長が遊園地のホスピタリティに感動してアミューズメント産業の会社に就職し、サービス産業での仕事を通して、お客さんとのふれあいの大切さ、お客さんに喜んでもらうことが自分の喜びとなっていたことを知る。
- ・FC岐阜の社長就任後、工夫を凝らした企画を実施したり、観客と積極的にふれあったりして精一杯働く恩田社長の姿から、お客さんに喜んでもらいたいという夢や希望をもって仕事をしていくことに気付かせる。
- ・恩田社長が難病と闘いながらも「幸せだ」と言って仕事をしている気持ちを考え、観客からの感謝の言葉をもらえることが生きがいであり、困難を乗り越え目標に向かって最後までやりぬこうとする強い意志につながっていることに気付かせる。
- ・自分の目標を達成するために努力してよかったと思ったことを振り返る。

■ 基本発問(◎中心発問)

- FC岐阜の恩田社長についての話を聞きましょう。
- FC岐阜の社長になった恩田社長は、どのような思いをもって仕事をしていたのでしょうか。
- 難病であることが分かった恩田社長は、病気が進行して体が思うように動かなくなっても仕事を続けたのはどのような思いがあるからでしょうか。
- ◎観客から感謝の言葉やメッセージをもらって恩田社長はどんなことを思ったのでしょうか。
- 今まで自分の目標を達成するために努力したことや努力してよかったと思ったことを教えてください。

2 本時の展開

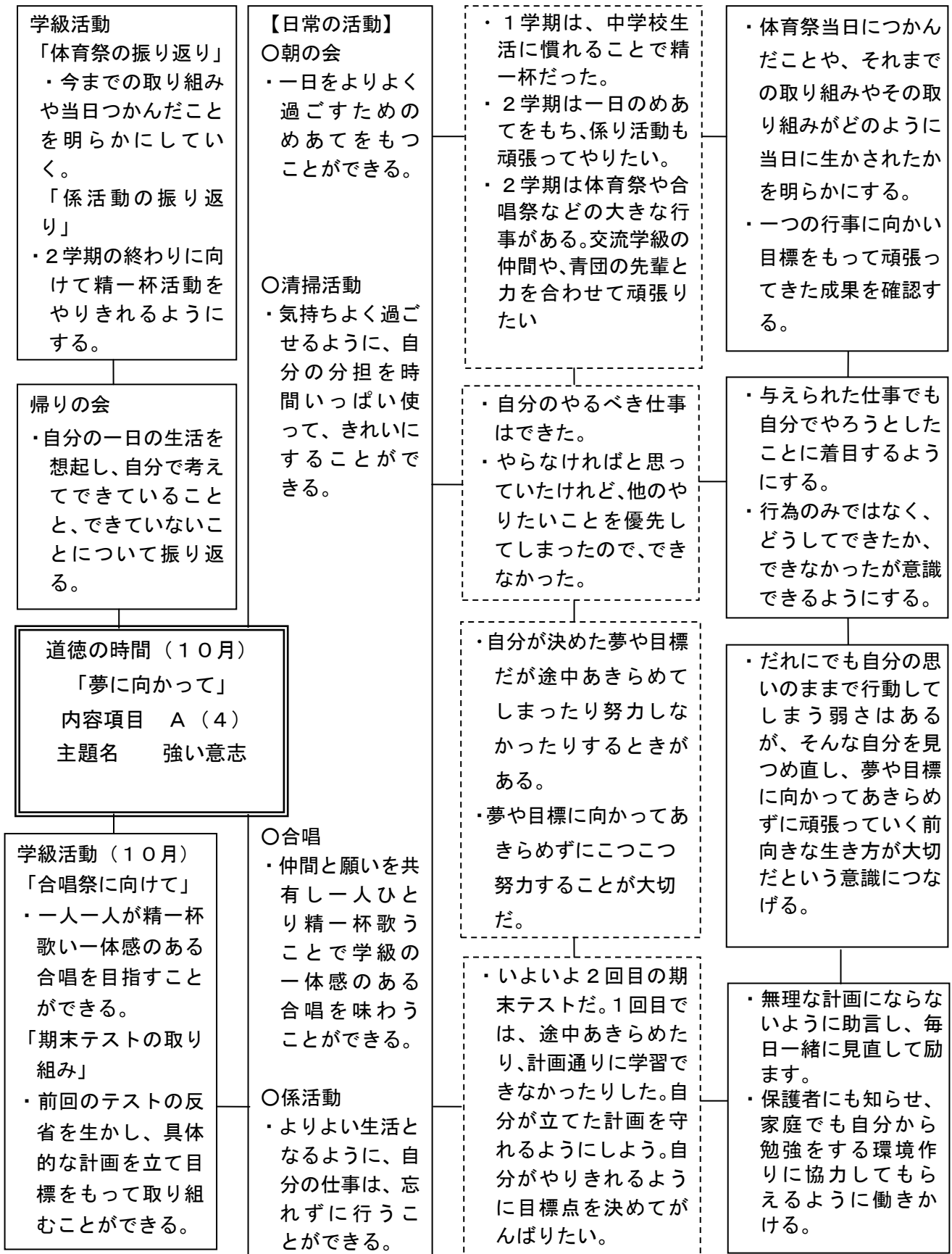
基本発問と予想される生徒の反応 ○発問 *個別支援（手立て）・予想される反応				指導・援助
	A男	B男	C男	
ねらい	具体的な解決法が分からない困難に出会った時、恩田社長がどのように克服したのかに気付き、目標を実現するために努力しようとする心情を育てる。	恩田社長が目標に向かって継続して努力し続けることができた原動力は何かに気付き、目標に向かって最後まで粘り強くやり抜こうとする心情や態度を育てる。	突然の環境の変化や思い通りにならないことに対して恩田社長はどのようにそれを受け入れ、目標に向かって取り組んだのかに気付き、自分の目標に向かってやり抜こうとする心情を育てる。	ポイント① （教材提示の方法） あらすじはポイントを絞って端的に話し、写真やフラッシュカードを提示して、視覚的にも情報を理解しやすくする。
	生徒自身の日々の生活の中にも、恩田社長のように目標を目指し強い意志をもって頑張っている姿があることを具体的な事例で示し、自信をもてるようにする。			
導入	○F C岐阜の恩田社長が社長に就任するまでの話を聞く。 ・岐阜県出身 ・大学時代に遊園地のホスピタリティーにふれて感動し、アミューズメント産業の会社へ就職 ・サービス業での仕事をするなかでお客様とのふれあいの大切さを学ぶ ・その熱心な仕事を評価され、F C岐阜の社長に抜擢される。			・恩田社長の写真やF C岐阜の写真は提示し、今日の資料の主人公に親しみをもてるようにする。 ・キーワードはフラッシュカードで示しながら恩田社長がF C岐阜の社長に就任するまでの道筋を理解できるようにする。
	*Aさんへの支援 見通しをもって学習ができるよう、学習の流れが分かるように示す。			
展開前段	○社長就任後の恩田さんの仕事ぶりから、恩田社長がどのような思いをもって仕事をしていたのかを考える。 ・工夫を凝らした企画を実施する。（始球式でヘリコプターからボールを落とす、「はたらく乗り物大集合」など）			・恩田さんの仕事ぶりをフラッシュカードや写真で示す。（始球式でヘリコプターからボールを落とす、サポーターとハイタッチするなど） ・前の仕事のときに恩田さんが大切に思っていたこととつながって板書に位置付ける。 ・ALSは現在の医療では治療困難な病気であることや症状について触れる。
	・お客さんを楽しめる企画をしてお客さんの数を増やしたいと思っていた。	・前の仕事のときみたいにお客さんを喜ばせたいと思っていた。	・お客さんとのふれあいを大事にしていた。	
	○自分が難病に侵されていることを宣告され、病気の進行により体の自由がきかなくなりつつも、あきらめず社長として仕事を続けた恩田さんはどのような思いがあったのかを考える。			
	*自分が難病に侵されて散ることを宣告された時の恩田社長の気持ちに共感させるとともに、恩田社長が「お客さんを喜ばせたい」という強い気持ちから様々なことを考え、困難な状況を克服していったことに気付かせる。	*やろうと思ったことが継続できなくなる状況や、それを乗り越えた状況を経験から想起させ、時として挫折することもあることに共感しつつも、恩田社長がなぜ仕事を続けてこられたのかを問がさせる。	*やろうと思ったことがうまくいかなかった状況を経験から想起させ、人には失敗や挫折、思わぬ困難があり、恩田社長も大きな困難に直面していたことに共感させるとともに、恩田社長がそれを乗り越え、仕事を続けようと考えた理由は何かを考えさせる。	*Cさんへの支援 些細なことでも自分を否定されたととらえ、マイナスの言動をとるので、本人の発言を受け入れ、価値付けるようにする。
	◎観客からの感謝の言葉やメッセージをもらって恩田社長はどんなことを思ったのか考える。			・恩田社長のインタビュー映像を提示し、観客からの感謝の言葉やメッセージが仕事を続ける動力になっていることに気付けるようにする。
展開後段	*お客さんに喜んでもらいたいという気持ちを強くもち、そのためにできることを考えて実行していったことが成功につながっていることに気付かせる。	と、その背景にはお客さんのために自分の仕事をやり遂げようという強い意志があったことに気付かせる。	*困難な状況があっても、お客さんに喜んでもらいたいという目的を強く持って自分を見失わずにやり遂げていったことが充実感、達成感につながっていることに気付かせる。	ポイント②（教師の価値付け） 保護者や教職員と連携して、日常生活において本人が目標に向かって努力していた姿を把握しておき、写真などで示して価値付ける。
	*Bさんへの支援 今何のことについて考えているのかが分かり、注意の持続ができるよう、ワークシートに自分で書いたりVTRを見たりする多様な活動			
	○今までの自分の目標を達成するために努力したことや努力してよかったことを考える。 ・部活動に頑張っている。部活の仲間と一緒に活動できた。			ける生徒一人一人が努力している姿を価値付ける。
	ができるようになった。最後までやりきることができた。	・自主勉強を毎日頑張っている。		
終末	○教師の説話を聞く。 ・大学時代の将来の夢と、夢に向かって努力したことについて			ポイント③（教師の説話） 身近な担任教師にも挫折して落ち込んだ経験や目標を達成した喜びを味わった経験があることを知る。

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<生徒の意識>

<指導・援助>



道徳の授業における実態分析表

内容項目 A（４）より高い目標を設定し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

	A	B	C
実態	進路や将来に関して希望はある。 そのために何をどうしていくとよいのか現実を見つめて考え実行していく力が弱い。	将来の夢はもっている。 そのために努力したり目標に向かってコツコツと頑張ったりすることが苦手。 すぐに忘れてしまう。	達成できそうな目標を自分で立てて努力しようとすることができる。 漠然とした自分の将来像を描くことが難しい。 自信のなさや不安なことを素直に適切に表現できず、否定的な発言をしてしまう。
要因	学校生活に対しての不安 目標を達成するための具体的な方法が分からない。 やりきった喜びを味わった経験が少ない。	自分のやりたいことを優先させてしまう。 注意欠陥。 そのために成功経験が不足しており、自信をもちにくい。	抽象的なことをイメージすることが難しい。 挫折や失敗への大きな不安があり、できないことを指摘されたり、注意をされたりすることに対する抵抗が強い。
気付かせたいこと	具体的な解決法が分からない困難に出会った時恩田社長がどのようにそれを克服したか。	恩田社長が目的意識を継続して取り組むことができた原動力は何か。	突然の環境の変化や思い通りにならないことに対して恩田社長はどのようにそれを受け入れ、目標に向かって取り組んだか。
指導場面のどこでどのように指導するか	○自分が難病に侵されていることを宣告され、病気の進行により体の自由がきかなくなりつつも、あきらめずに社長として仕事を続けた恩田さんはどのような思いがあったのか。		
	自分が難病に侵されていることを宣告された時の恩田社長の気持ちに共感させるとともに、恩田社長が「お客さんを喜ばせたい」という強い気持ちから様々なことを考え、困難な状況を克服していったことに気付かせる。	やろうと思ったことが継続できなくなる状況や、それを乗り越えた状況を経験から想起させ、時として挫折することもあることに共感しつつも、恩田社長がなぜ仕事を続けてこられたのかを考えさせる。	やろうと思ったことがうまくいかなかった状況を経験から想起させ、人には失敗や挫折、思わぬ困難があり、恩田社長も大きな困難に直面していたことに共感させるとともに、恩田社長がそれを乗り越え、仕事を続けようと考えた理由は何かを考えさせる。
	◎観客から感謝の言葉やメッセージをもらって恩田社長はどんなことを思ったのか。		
	お客さんに喜んでもらいたいという気持ちを強くもち、そのためにできることを考えて実行していったことが成功につながっていることに気付かせる。	夢をあきらめず持ち続けたこと、その背景にはお客さんのために自分の仕事をやり遂げようという強い意志があったことに気付かせる。	困難な状況があっても、お客さんに喜んでもらいたいという目的を強くもって自分を見失わずにやり遂げていったことが充実感、達成感につながっていることに気付かせる。
特性への配慮等	見通しをもって学習ができるよう、学習の流れが分かるよう黒板に示す。	今何のことについて考えているのかがわかり、注意の持続ができるよう、自分で書いたり VTR を見たりする多様な活動を取り入れる。	些細なことでも自分を否定されたととらえ、マイナスの言動をとるので、本人の発言を受け入れ、価値付けるようにする。